

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成28年9月26日 (第492報) 発信時刻 7時3分		
経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿		
通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏 連絡先 0240-25-4111(代) ( )		
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。		
原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻	平成28年 9月 14日 21時 58分 16日 0時 00分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 況	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (□する, ■しない)
	想定される原因	■特定 福島第一原子力発電所の影響 □調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 □無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有:
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候 : _____ ※ ・風向 : 方位 _____ ※ ・風速 : m/s _____ ※ ・大気安定度 : _____ (10m)
	周辺環境への影響	□無 □有:
	応急措置	2号機残留熱除去系(B)は9月26日6時12分、1号機残留熱除去系(B)は9月26日6時25分、1号機ディーゼル発電機(B)は9月26日6時31分から電源ケーブル引き替え作業のため使用できない状態にしました。

※風速が0.5m/s未満の場合「CALM」(静穏)、この時の風向を「-」と表記する。

東京電力 (株)

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 9月26日 (第493報) 発信時刻 9時42分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (口する, 口しない)
	想定される原因	口特定 福島第一原子力発電所の影響 口調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 9時00分)	被ばく者の状況 口無 口有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 口無 口有:
	気象情報 (確認時刻 9時00分)	天候: くもり 風向: 方位 北北東 ※ 風速: m/s 3.6 ※ 大気安定度: B (10m)
	周辺環境への影響	口無 口有: 調査中
応急措置	(この欄は斜線で示す)	

※風速が0.5m/s未満の場合「CALM」(静穏)、この時の風向を「-」と表記する。

1号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (9/26日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (9/26日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa[gage])) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	28.9 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	4100 mm SHC 広域帯 燃料頂部から → 8296 mm
外部電源	受電 有 (無)
非常用ディーゼル発電機運転	受電 有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・(未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動・(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入
ボロン添加	添加・(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 ↗	4.0 (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・(未作動)
その他の特記事項	↓ 冷温停止中 サプレッションプール水温度 27 °C CUW系による除熱中 9/26 6:26 RHR(B)系停止、6:31 D/G(B)不待機 仮設低圧ケーブル移動作業のため

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (9/26日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (9/26日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	-0.01 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa[gage])) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	26.5 °C 給水ノズル温度 RHR(L)(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	4150 mm SHC 広域帯 燃料頂部から → 8346 mm
外部電源	受電 有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電 有 無
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・(未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動・(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入
ボロン添加	添加・(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 ↗	3.8 (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・(未作動)
その他の特記事項 →	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28 °C RHR(A)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 3号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (9/26日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年8月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (9/26日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.01 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa(gage))) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	28.8 °C 給水ノズル温度 RHHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 ↗	4100 mm SHC 広域帯 燃料頂部から ↗ 8296 mm
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) 無
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・(未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動・(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入
ボロン添加	添加・(未添加)
主蒸気隔離弁の開閉	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 ↗	5.90 (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動・(未作動)
その他の特記事項	→ 冷温停止中 サプレッションプール水温度 28 °C RHHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (9/26日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成29年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (9/26日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa[gage])) 上昇・下降・安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	26.2 °C 給水ノズル温度 RHR(H)(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 ↘	4000 mm SHC 広域帯 燃料頂部から ↘ 8196 mm
外部電源	受電 有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電 有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	- * (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項 →	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24 °C RHR(A)系による除熱中 * D/Wパーソナルエアロックドア開放中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(8/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(26日 9時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(26日 9時 00分)			
	日時分	日時分	日時分	日時分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻( 26 日 8 時 30 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 2.6 cps , 2号機 : 3.6 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 3.5 cps , 4号機 : 4.7 cps
	Rw/B : 2.1 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	8 時 10 分	1.7 μSv/h	1.2 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	0.9 μSv/h	1.0 μSv/h
	8 時 20 分	1.7 μSv/h	1.2 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	0.9 μSv/h	1.0 μSv/h
	8 時 30 分	1.7 μSv/h	1.2 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	0.9 μSv/h	1.0 μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
γ線濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。



横式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻( 26 日 9 時 00 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 2.5 cps, 2号機: 3.6 cps
補助煙屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.6 cps, 4号機: 4.8 cps
Rw/B: 2.3 cps	

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	8 時 40 分	1.7 μSv/h	1.2 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	0.9 μSv/h	1.0 μSv/h
	8 時 50 分	1.7 μSv/h	1.2 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	0.9 μSv/h	1.0 μSv/h
	9 時 00 分	1.7 μSv/h	1.2 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	0.9 μSv/h	1.0 μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
α素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

		平成23年9月26日 (第494報) 発信時刻 16時40分	
経済産業大臣、福島県知事、楡葉町長、富岡町長 殿		通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏 連絡先 0240-25-4111(代) ( )	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。			
原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楡葉町大字波合字小浜作12	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要発生した特定事象の概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 ( <input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない )	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候 : 風向 : 方位 ※ 風速 : m/s ※ 大気安定度 : (10m)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	応急措置	2号機残留熱除去系 (B) は9月26日6時12分から、1号機残留熱除去系 (B) は9月26日6時25分から、1号機ディーゼル発電機 (B) は9月26日6時81分から使用できない状態でしたが、電源ケーブル引き替え作業が完了したことから、2号機残留熱除去系 (B) は9月26日15時31分、1号機ディーゼル発電機 (B) は9月26日14時20分に待機状態にしました。 また、1号機残留熱除去系 (B) は9月26日16時15分に起動しました。	